

平成26年度 小中連携キャリア教育推進事業 実践事例

平成25～26年度研究委託地域 松江市



推進指定モデル学園

まつえ湖南学園：湖南中学校、忌部小学校、乃木小学校

ほっとハート東出雲学園：東出雲中学校、揖屋小学校、意東小学校、出雲郷小学校

平成27年3月
島根県教育委員会

松江市キャリア教育推進の基盤

キャリア教育への期待

価値観の多様化や情報のグローバル化など変化の激しい社会にあって、これからの社会を生き抜く子どもたちには、豊かな人間性や社会性、主体性を育み、様々な課題にたくましく対応する力や、社会人として自立するための力を培うことが強く求められる。

松江市では、子どもたちの社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる資質、能力、態度を育むキャリア教育を推進し、将来に対する志を持ち、ふるさとを愛し、力強く未来を切り拓くことのできる児童生徒の育成をめざす。

松江市の小中一貫教育を基盤としたキャリア教育の推進

松江市キャリア教育の目標(ねらい)

『ふるさと松江を愛し、夢と希望をもち、力強く未来を切り拓く児童生徒の育成』

【重点目標】

- ◆小中学校の発達の段階に応じた系統的な指導により、各教科等、全教育活動を通して基礎的・汎用的能力を育成する。
- ◆「社会体験学習」や「地元職業人出前授業」など地域ぐるみのキャリア教育を通して、「生きること」「学ぶこと」「働くこと」「ふるさとのよさ」を学び、豊かな人間性や社会性、主体性を育成する。

松江市キャリア教育推進上の重点

- 重点① 小学校におけるキャリア教育の理解を深める
- 重点② 進路指導イコール「キャリア教育」といった狭義の認識を払拭し、キャリア教育本来の目的を達成する
- 重点③ 子ども達に社会性を十分に育む社会体験学習の企画
- 重点④ 社会体験学習の実施上の各学校の負担軽減
- 重点⑤ 学校で取り組むキャリア教育のねらいに対する企業の理解促進
- 重点⑥ キャリア教育を推進する上での地域・企業との連携強化

小中一貫教育の成果

たての一貫教育を活かす

小中学校教職員の共同指導体制

学校の特色を活かした教育

子どもたちの発達段階に応じた教育

よこの一貫(環)教育を活かす

学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育てる体制

学校支援地域本部を中心に学校を支援する地域の体制

※松江市では、子どもをとりまく社会環境の変化とそれに伴う教育諸課題の解決に向け、平成22年度から市内全ての中学校区で小中一貫教育に取り組んでいる。

推進指定モデル学園小中連携キャリア教育の実践

小中9年間を見通したキャリア教育をデザインする

まつえ湖南学園 キャリア教育全体計画

まつえ湖南学園テーマ
「夢に向かって」 ～キャリア教育を基盤に据えた小中一貫教育を目指す～

25プロジェクト 目指す25歳の人物像
「進んで学ぶ視野の広い人」「温かい心をもつ人」「心身ともにたくましい人」

キャリア教育の目標
夢の実現に向けて地域・社会とつながり、自ら考え学んでいく児童・生徒の育成

児童・生徒の状況
○案直である
○作業などの体を動かすことを厭わない。
○決められた自分の役割をきちんと果たす。
・自分からすすんで動くとする意欲が必要である。
・すぐに答えだけを求めず、じっくり考えるようとする力が不足している。
・家庭学習習慣が確立していない状況である。
・少人数での話し合いはするが、集団が大きくなると自己表現ができない。

キャリア教育の定義
一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

育成すべき能力や態度（基礎的・汎用的能力）

| | 人間関係形成・社会形成能力 | 自己理解・自己管理能力 | 課題対応能力 | キャリアプランニング能力 |
|---------------------------|---|--|--|--|
| | 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるように、自分の置かれた状況を受け止め、役割を果たしつづけて他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成する力。 | 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係をもちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。 | 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。 | 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。 |
| 後期【発展期】 中学2・3年 | <ul style="list-style-type: none"> 他者に配慮しながら、コミュニケーションの大切さを理解し、地域・社会にも目を向ける。 多様な考えを認め合い、協力して物事をやり遂げる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のよさや個性を伸ばそうとする。 社会と自分との関わりを理解し、主体的に行動する。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校や社会における課題について自分の考えをもち、主体的に解決していくようとする。 課題解決のために、多様な方法を吟味し、最善策の実行に向けて準備する。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の適性を理解し、将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。 職業についての学習や職場体験学習を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いを知り、自己の生き方を考える。 |
| 中期【活用期】 中学1年 小学5・6年 | <ul style="list-style-type: none"> 友だちの立場や考えを理解し、よりよい学校生活をを目指す。 互いの考えを認め合い、みんなで話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のよさや個性を知る。 自分のやるべきことを考え、積極的に行動する。 | <ul style="list-style-type: none"> 生活や学習上の課題を見つけ、意欲的に学習に取り組む。 課題解決のために、進んで情報を選択し、計画を立てて実行する。 | <ul style="list-style-type: none"> 将来への夢や希望をもち、自分の能力を高めるために計画的に物事に取り組む。 身近な産業や職業を知り、働く人の思いや社会での役割が分かる。 |
| 前期【定着期】 小学 1・2・3・4年 | <ul style="list-style-type: none"> 友だちのよさを見つけ、仲良く協力して活動する。 自分の考えをもち、友だちと伝え合う。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のよさやのびを見つける。 自分のできることを見つけ、進んで行動する。 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な学習の仕方や身に付け、意欲的に学習に取り組む。 計画づくりの必要性に気付く。作業の準備や手順が分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の成長を振り返り、未来への希望を抱く。 身近な働く人の様子を知り、いろいろな職業や生き方があることが分かる。 |

◆ 自立の姿とは？

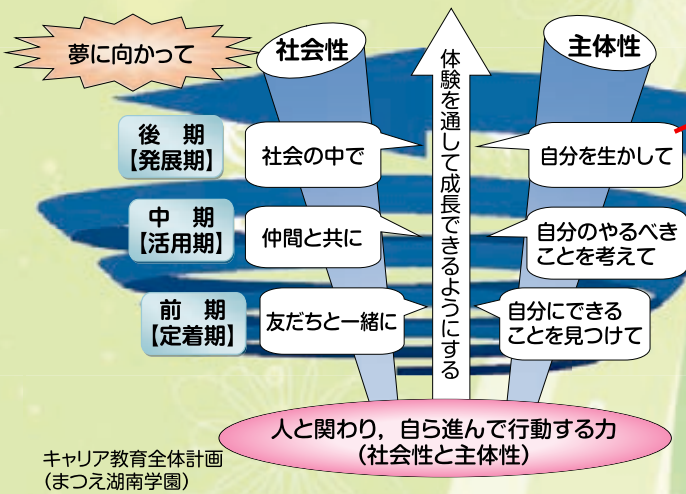
まつえ湖南学園では主体性・社会性を育むことをめざし、25歳で目指す姿を設定している。

◆ 自立に向け、育成すべき能力・態度とは？

発達段階に応じて、全24の力として明確化。評価項目としても活用できる。

◆ 育成すべき能力・態度を児童生徒も共有！

身に付けさせたい能力・態度を児童生徒にも分かる言葉で示し、振り返りを促す。



キャリア教育全体計画 (まつえ湖南学園)

◆ キャリア教育の視点から今、既にある「宝」を洗い出す！

育てたい能力・態度を設定し、その視点からこれまでの教育活動を見直し、取り組みの重点内容を明確化。

<ポイント>

キャリア教育を進めて行く上では、今既にある教育活動を活用するという視点で捉え直す。既に行っている教育活動をキャリア教育の視点(=育てたい能力・態度)から振り返ってみると、キャリア教育として生かせる宝をたくさん見つけることができる。

育てたい力 第三期【5・6年】

| | 育てたい力 第三期【5・6年】 | |
|---------|--|--|
| | 5年 | 6年 |
| 仕事との関わり | さまざまな分野で働く人に感性をもち、働くことの意義や目的について考えることができる。 | さまざまな分野で働いたり活動したりする人の生き方について考えることができる。 |
| | 社会科 「米作りのさかんな庄内平野」 | 社会科 「世界の中の日本」 |
| | 総合的な学習の時間 「身近な環境について考えよう」 | 総合的な学習の時間 「平和について考えよう」 |
| | 将来を意識し、さまざまな分野の職業を見て、将来つきたい職業や夢を考えることができる。 | |
| | 道徳 「メジャーリーガーイチロー」 | 道徳 「世界の人々を守る」「大森から世界へ」「夢、大空に向かって」 |

【有意義な体験の中で、自分らしい生き方を実現する】

◆ 生徒会主催 地域貢献活動

東出雲中学校では、人間関係・社会関係形成能力を育てることを目標とし、生徒会主催の地域貢献活動が行われた。活動に際しては生徒会発案で校区3つの小学校にも活動が呼びかけられ、小中合同の地域貢献活動を展開。



ほっとハート東出雲学園 白鳥海岸清掃の様子

学園の連帯感や公共のマナー意識、地域の一員としての自覚を高める、価値ある体験となった。

◆ 連続5日間の職場体験



各学園では連続5日間の社会体験活動を実施し、コミュニケーション能力や人間関係を築くための力など社会性の育成を目指した。

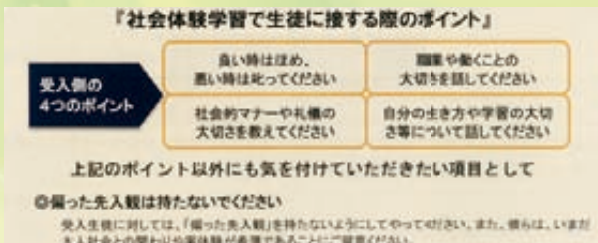
(生徒感想より)

働いているとき思ったことは、経験したたくさんのことが自分自身の生活態度につながっているということでした。だから私は家での生活も、もっときちんとしていこうという自覚ができました。職場の方には、「お客さんへの気配りが一番大切」と教えて頂きました。5日間で相手の気持ちを考えたり、自分から積極的に動こうとする意欲が出ました。

学校を支える行政の取組

◆ 「職場見学・社会体験学習受入の手引き」作成と配付

受入れの事業所（企業）向けに手引書を作成し、配付。受入企業の会長から、「職場体験受入は今回が初めてで、この手引書を元に、自社で5日間受入れプログラムを作成して生徒を受け入れた」と話が出るなど、受入れ側のキャリア教育に対する理解を促進し、受入れ時の参考となるものとなった。



「小・中学生 職場見学・社会体験学習受入れの手引き」より

◆ まつえ『夢☆未来』塾

地元企業（事業所）の方々を人材リストに登録させていただき、希望する市内各小中学校へ「夢☆プレゼンター」として派遣する。プレゼンターの方から、仕事に対する思いややりがい、誇り、自分の生き方や夢、ふるさと松江で働くことの意義などについて語っていただき、児童生徒の将来に対する夢や希望を育む。

(生徒感想より)

これからいろいろなことに興味を持ち、体験をしてどんどん夢を増やしていきたいです。先生が言っておられた「松江の景色を絶対忘れない」ということはとても素敵なことだと思います。



キャリア教育の実践成果と今後の展望

【実践成果】

- 学年が上がるにつれて将来に対する意識や社会の出来事に対する関心が低くなる傾向があったが、「将来の夢や目標を持つ」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもつ」といった点で、児童生徒の意識の高まりが見られた。
- 中学3年生は、連続5日間の社会体験学習に取り組んだことで、「将来どのように生きるのか」「なぜ学ぶのか」「なぜ働くのか」といった視点が芽生え、将来に向けての夢や希望をもち、自主的・主体的に学習したり、生活したりしようとする意欲が高まったと考えられる。
- 小学6年生は、「自分の努力は周りの人から認められると思う」と考える児童が増えた。全教育活動を通したキャリア教育、地域の人との関わりの中での体験を進めたことで、キャリア発達が促されたと思われる。

【今後の展望】

- 小学校におけるキャリア教育の推進 ～「まつえ『夢☆未来』塾」の展開、職場見学・地域探検ができる環境の構築～
- 中学校の連続5日間の社会体験学習実施校の拡大 ～実施校を増やしながら、事業所を開拓～
- 学園キャリア教育全体計画の作成 ～キャリア教育を中核とした小中一貫教育の推進～
- 市民や事業所等へのキャリア教育の啓発 ～支援と協力のネットワーク拡大～